

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会
- 2 開 催 日 時 令和6年12月24日(火)14時00分～15時48分
- 3 開 催 場 所 木更津市立桜井公民館 1階 集会室
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】 17名

根本 修身 小出 京子 小山百合子 船木迫 久美子 高木 厚行
石田 美穂子 青木 健 実形 昭夫 平野 進 山口 宗治 秋元 豊
原田 洋子 加山 恒夫 小倉 博史 澤邊 賢司 山下紀世美 鶴岡 俊之

【公民館長】14名

山下 理（中央公民館） 唐鎌 勲（富来田公民館）
相場 明彦（岩根公民館） 山村由美子（鎌足公民館）
岡田 清治（中郷公民館） 星野 隆弘（富岡公民館）
小倉 敏幸（文京公民館） 藤崎 仁（八幡台公民館）
出口 雅彦（東清公民館） 竹内 康博（畑沢公民館）
鈴木 加津也（岩根西公民館） 江尻 益男（西清川公民館）
河野 勝（波岡公民館） 渡邊 祐二（桜井公民館）

【事務局職員】2名

寺本 貴光（中央公民館事業係長）
進藤 颯（中央公民館事務員）

5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号「令和6年度公民館文化祭(まつり)の実施及び視察研修の実施結果について」

- 報告事項 (1)各種選出委員からの経過報告について
(2)公民館等の使用料改定について
(3)公民館管理人について
(4)その他

6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

審議会に先立ち、廣部教育長より船木迫 久美子委員へ委嘱状交付を行った。

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して17名の出席)ので本会議が成立したこと、本会議は公開制であることを報告し、令和6年度木更津市立公民館運営審議会第3回定例会を開会

する。青木委員長挨拶の後、議案審議に入る。

議案第 1 号 令和 6 年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施結果について

青木委員長 これより議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議案第 1 号 令和 6 年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施結果について、です。実施内容について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 文化祭の実施報告につきましては、各公民館長より概要の説明をさせていただきます。その後、5館ずつ質疑応答の時間とさせていただきます。文化祭実施報告の後に、事務局より視察研修の実施結果をご報告いたします。

青木委員長 始めに、中央、富来田、岩根、鎌足、中郷公民館からそれぞれ説明をお願いします。

中央公民館長 第48回中央公民館まつりは、公民館利用団体サークル等で組織された実行委員会を中心に「学ぼう 築こう文化の輪」をテーマに掲げ、10月26日(土)27日(日)の2日間実施いたしました。

展示部門、発表部門、イベント部門、として、一中西部地区社会福祉協議会とともに敬老会同時開催とし、今年は、開館60周年記念式典・記念事業の一環として開催しました。記念式典に引き続き、木更津第一小学校児童の合唱・たぬきばやし保存会による、証城寺のたぬきばやし、が記念アトラクションとして披露されました。やはり、子どもたちが多く参加するということで、家族連れがたくさん来場してくださいました。

特に今年は、例年、会場の奥に位置する展示会場への人の流れが少ないことが課題だったものを、スタンプラリーを取り入れ、展示会場の奥まで人の流れをつくることができ、該当する展示会場のサークルの方から、「今年は多くの人に訪れてもらえてよかった」との言葉をいただきました。

また、きさぽんフォトブースを設けるにあたり、「自習＆ワークスペース」の利用者にボランティア募集をかけたところ、数名の若者の協力がありました。

今年は2日間で約1,000人の来場があり、多くの方に日頃の成果をご覧いただくことが出来ました。周年事業としては、まだ記念誌作成が残っておりますが、公民館まつりは、盛況でございました。

富来田公民館長 10月26日(土)、27日(日)に富来田地区市民文化祭を開催しました。27日は衆議院議員選挙があり公民館に多くの方が足を運びました。昨年度の反省点として、土曜日の来場者が少ないことで開会セレモニーがさみしいものになってしまったということがありましたので、今年度は開会式でなく文化祭セレモニーということで2日目の最初におこないました。工夫の甲斐あって小中学校の保護者の方々など多くの方が出席したセレモニーになりました。

た。毎年文化祭のテーマを中学生から募集していますが、その表彰式も多くの人に見てもらえました。

また、今年度も富来田商工会との同時開催ということで模擬店も出展され多くの賑わいを見せました。

地域の文化祭ということで各サークルや団体、学校等が参加し地域全体盛り上げる雰囲気がありますが、富来田地区の課題である高齢化に今後どう対応していくかは課題となります。

小中学生と高齢者の中間の年齢層は文化祭に参加することが難しい状況ですが、中間の年齢層をいかに文化祭に参加することが重要と考えています。また、小中学校の児童生徒のかかわり方を今度検討していくことも必要だと考えます。合唱発表以外の発表なども今後工夫していく必要があると感じます。

今年度中学校の有志のダンスは発表されことはとても良かったと感じています。地域の中で特に若い人たちのかかわりや参加を増やしていくように情報発信をしていきたいと考えています。来年度以降も地域で文化祭を盛り上げていければと考えています。

岩根公民館長 第67回岩根東地区文化祭は、公運協と公民館利用団体サークルで組織された実行委員会を中心に、「つなげよう岩根 広げよう豊かな心」をテーマに掲げ、開催いたしました。国政選挙のため発表部門、催物部門、敬老会の会場を岩根中から高柳小に変更して、10月26日(土)、27日(日)の2日間実施いたしました。

公民館では、7団体・サークルと5名の個人出展による展示が行われました。また、呈茶席・オセロ大会のイベントが26日(土)に行われました。岩根公民館には2日間で約260名の方が来館されました。

高柳小では、体育館に小中学校の児童生徒の作品展示と、27日(日)に模擬店やウォークラリーのイベント、そして各サークルの発表が行われました。模擬店では、手作り作品や焼きそば・焼き鳥の販売、キッチンカーによるクレープの販売、モルック体験など大盛況でした。発表では、11団体・サークルの発表が行われ、多くの方に日頃の成果をご覧いただくことが出来ました。高柳小には発表部門に約1330人、催物部門には約640人の方がご来場になりました。小中学生、敬老会や地域の方々の様子から、生き生きとした表情が見られました。敬老会との合同開催は、2回目となりますが最後まで観覧していただいています。高校生の発表、歌謡ショー、抽選会の流れが定着してきたようです。

いずれにしても、文化祭を通して、文化の香り高く、心豊かで潤いのある地域社会づくりと地域住民のつながり、心と心のふれあいを図るという目的を十分に達成することが出来たのではないかと思います。来年度に向け、今年度の反省に基づいて、方法や活動内容等を改めて検討して参りたいと考えております。

鎌足公民館長 第45回鎌足地区文化祭は、衆議院議員総選挙の投票日と重なったことから、10月26日、27日、鎌足小学校、体育館・中庭を会場に、「人をつなぐ 地域をつなぐ 未来につなぐ」のテーマのもと、実行委員参加団体45、出演出展者350名で開催しました。

展示部門は、陶芸、絵手紙、浮世絵、書道、小中学校からも多くの作品の出品がありました。
模擬店部門は、サークルや地域団体、アカデミアホテル、鎌足小中学校 PTA バザーなどで盛り上げることができました。

芸能発表部門は、敬老会と合同で開催しました。鎌足中学校の生徒が司会進行を大人と一緒に担当し、若い力がにぎわいに花を添えました。

舞踊やカラオケなどのほか、地域の声掛けでバンド演奏や大道芸が行われるなど、若い人や幅広いジャンルの出演があり、改めて鎌足地区の文化や人のつながりを感じることができました。

芸能発表の最後に、恒例の『福もちまき』を行いました。これは地域の団体、区長会や民生委員が中心となり今年は 3700 の餅をつきました。餅まきの後に地域の生産者からの野菜の当たりくじもあり、一日の中で一番のにぎわいになりました。

会場は変更になりましたが、例年同様、地域の人々が、集い、つながりあう場として、文化祭を盛大に開催できました。

中郷公民館長 第43回中郷地区文化祭は、「みんなで咲かそう 中郷文化の花」をテーマに、公運協・公民館利用サークルで構成されます中郷地区文化祭実行委員会により、10月12日(土)、19日(土)、20日(日)の3日間、中郷公民館を会場に開催しました。

例年、作品展示のみの開催を行ってまいりましたが、今年度は、卓球サークル有志による卓球体験を19日に行いました。結果としてはPR不足もあり、ごくごく少人数の参加となってしまいました。

また、19日(土)20日(日)の作品展示では、地域内の小学校児童と二つの保育園園児の作品展示をはじめ、サークル作品展示の絵手紙サークル・クラフトサークル・太巻き寿司や個人作品のクラフト・パッチワークなどの展示を行いました。

例年、中郷小学校の授業参観日と同日に開催しておりましたが、今年度は、公民館単独での開催となったためか、来場者数が半減してしまいました。

来年度の開催に向け、内容等を吟味しながら、検討していきたいと考えております。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

平野委員 12月市議会の中で公民館の廃止の話があがった。事前資料を送付しているので文化祭の説明は簡潔に留めていただき、公民館の廃止の関係について意見交換する時間を設けてほしい。

青木委員長 議案の文化祭報告が終わった後に、あらためて時間を設けさせていただきます。

その他の質疑がないようでしたら、引き続き、富岡、文京、八幡台、東清、清見台公民館からそれぞれ説明をお願いします。

富岡公民館長 今年度の富岡地区文化祭は、当初10月26日と27日の2日間の日程で開催される予定

でしたが、直前に衆議院議員総選挙の投票日と重なったことから、日程を11月2日・3日に変更して実施いたしました。

初日はあいにくの天気でしたが、2日間を通して約150名の来場があり、展示が中心だったが主催事業やサークル、地域活動、保育園児、小中学生、個人の作品等、富岡公民館の日頃の活動成果を利用者をはじめ、地区内外の多くの方々にご覧いただけたのではないかと思います。

加えて、2日の日に行われた呈茶会では、富岡公民館主催で8月から5回に渡って開催した「中学生のための茶道体験教室」に参加した富来田中学校の生徒さんが、教室で学んだ成果の発表の場として、60名近い来場者にお点前を披露しながらおもてなしするなど、和やかな雰囲気を出して盛り上げてくれました。

日程が変更となり、屋外でのイベントが取り止めとなったことは残念でしたが、公民館運営協力委員会を中心に実行委員会の役員・スタッフが準備から後片付けまで主体的に取り組むなど、地域あつての文化祭、公民館だということを改めて実感することができました。

また、最後の反省会では、地域の人口減少や高齢化が進んでいる中、どうやって大勢の人に文化祭に足を運んでもらうかを検討するため、より若い人たちの意見やアイデアが必要であり、各区長から推薦されたメンバーで検討委員会を開いてはどうか、といった今後に向けた課題や前向きな提案も出され、次年度の取組に繋げていくきっかけにもなる有意義な文化祭となりました。

文京公民館長 第23回文京公民館まつりは、公民館利用団体サークルによる実行委員会を中心に、今年度はテーマに、「楽(たのしむ)」を掲げ、10月12日(土)13日(日)の2日間、実施いたしました。

展示に関しては、幼稚園・小・中学校の児童生徒作品や、サークルによる書道・編物・ビーズ・ガラスアート・七宝焼・生花・絵画・絵手紙・古文書等の様々な作品展示を行い、幅広い世代や地区外からも見学に来られ、より多くの人にサークルや子どもの作品をご覧いただくことができました。また、サークルによる体験コーナーを今年度は多く設け、新たなバルンアート体験等は大人気でした。

イベント部門では、オープニングにFORZA木更津による乱舞を披露していただき盛大に、開会を盛り上げていただきました。また、模擬店では、焼きそば・フランクフルト・綿菓子・珈琲など飲食物の販売を行い大盛況でした。今年度は、子どもたちが運営するゲームコーナーを設けることで、取り組みの輪が広がる様子が見られました。

発表部門は第二小学校の体育館を会場として開催し、二小・請西・真舟小の児童の合唱発表には、多くの保護者の方々や学校関係者の方が集まり、会場が一杯になる程でした。また、今年度は例年より日程が早まった関係で、発表するサークルが減少しましたが、内容の濃い発表の様子が伺えました。

天候にも恵まれ、2会場での実施人数は、延べ3,500人近くの多くの方々が、公民館まつりに訪れて生まれ、地域住民との交流や、文化芸術向上の場としての役割を果たすことができました。来年度に向け、今年度の反省に基づいて、方法や活動内容等を改めて検

討して参りたいと考えております。

八幡台公民館長 八幡台公民館です。11月2, 3, 4の3日間に行われた「第41回 上烏田・八幡台・羽鳥野地区文化祭」について、ご報告いたします。

今年度は「笑顔で広がる文化の輪」のテーマを掲げました。区長・自治会長、公民館利用サークル、地域団体が組織された実行委員会が中心となって、上烏田・八幡台・羽鳥野の3地域の協力体制の下で取り組みました。

実行委員会の中に展示・発表・イベントの各部門を設け、それぞれの部門ごとに責任者を中心として主体的な運営がなされました。

10月28日に行った事前の美化清掃には、50名を超える協力者があったほか、文化祭当日3日間で48団体が参加し、各団体・サークルの学習成果の発表やイベントが盛況に開催されました。

この3日間には多くの人たちが公民館を訪れました。初日は雨天だったものの、2日目、3日目は晴天に恵まれて、来場者は、約3,000人と、コロナ禍前とほぼ同様の賑わいをみせました。

地域の高齢化が進んでいて、参加できない団体が出てきている現状はありますが、幼小中の児童生徒作品の展示や新体操やこどもダンスの発表、お茶・和太鼓・ターゲットバードゴルフ・少年野球・囲碁将棋教室などのイベントにおいて、子供たちの活躍が増えたことがよかった点です。また、模擬店が増えたことでにぎわいも増したと思います。

この文化祭を通して、サークル・団体の連携と活性化が図られました。また、地域間の交流と融和が図られるとともに、地域の芸術・文化活動の振興と地域住民の交流・つながりに寄与することができたと考えています。

東清公民館長 第41回東清川地区文化祭は、10月12日(土)～13日(日)、11月2日(土)の3日間、東清公民館及び東清小学校・清川中学校の体育館を会場に開催されました。昨年度より多くの方、1000名の方が足を運んでくださり、たくさんの笑顔が見られた有意義な2日間となり、「東清文化 みんなで育む 地域の絆」というテーマに迫ることができたのではないかと考えます。

公民館では各サークルの活動の成果(パッチワーク、クラフト、絵手紙など)や、小中学生の書写や美術の作品に加え、地域の有志による似顔絵や写真、木工作品などが展示され、訪れた方々の目を楽しませていました。それぞれの作品への賛辞に加え、小学生の作品を見ることができたことを喜ぶ声が多く聞かれました。また、筆ペン画や拓本の体験会は大変好評で、今後のサークル化につながっていくことを予感しました。

2日目は駐車場において模擬店を実施しました。実行委員会では販売しているパンや飲料、例年参加してくれている地域の方によるスープカレー、豚串に加え、初めてたこ焼きの模擬店を開いてくれた方がいたり、キッチンカーを導入したりするなどが新たな取組も見られ、子どもからお年寄りまで、多くの笑顔があふれる空間となっていました。

東清小学校では土曜日に新たな試みとして「ボッチャの体験会」を行いました。参加者からは「できたらサークルに参加したい」という声が聞かれました。日曜日は、詩吟、オカリナのサークルに加え小学生の合唱、中学校音楽部の管弦、地域の方の大正琴やフラダンスが発表され、どれも好評でした。その中で、発表分野のサークルの減少は今後に向けた課題と考えました。

11月2日は清川中学校にて卓球フェスティバルを行いました。東清公民館で活動中の5つの卓球関係のサークルの方に加え一般の方にも参加を呼びかけ、まずラリー部門の勝負、続いてダブルスでのトーナメント戦を行いました。後半になるにつれ試合のレベルは上がり、観客の声援も盛り上がりしました。

それぞれの部門の準備や片づけの際は昨年度の反省を生かし、能率的にできていたと思われます。また、昨年度の発表部門準備に加え、イベント部門の朝のテント作りに中学生ボランティアの力を借りたことは大変良かったと考えます。準備が早くなり、大人が感謝をするだけでなく、中学生と地域の大人が話をすることで、絆ができる機会にもなったと考えます。

多くの面で価値があった第41回東清川地区文化祭でした。特に今まで公民館の活動に関わったことのない地域の方に運営に関わっていただいたことは新たな地域の絆を広げ、深めていく

ことになると考えます。公民館の利用者層の拡大にもつながることからこんな側面も文化祭の効果として期待したいと考えます。

清見台公民館(事務局が説明) 第40回清見台地区文化祭は、「伝えよう つなげよう 世代を超えて」をテーマに、公民館で活動するサークル・団体をはじめ、地域住民・学校・幼稚園・自治会などが中心となって、10月19日(土)、20日(日)の2日間実施いたしました。

2日間行われた作品展示では、7つの団体・サークル、個人と幼稚園2園、小中学校3校が絵画や書道などの作品を展示しました。1日目には、太田中学校書道部の生徒が訪れ、作品の紹介や公民館内の案内をしていただきました。作品展示の会場にホワイトボードを設置し、作品をほめる、たくさんのメッセージを頂きました。

1日目は、呈茶席を行い、61 人の方がお茶を楽しみました。

2日目の体育館では、発表を行い、15 のサークル・団体とゲストに太田中学校合唱団と木更津総合高校和太鼓部に発表をしていただきました。発表団体も3つ増え、盛り上がりのある文化祭が戻ってきています。

2 日目の駐車場では、地域の 5 団体で模擬店を出店し、盛り上がっていました。お昼には、100 個のふうせんを飛ばしました。(例年 5 月に行っていた「木更津・夢ふうせん」ができなかったため、文化祭で行いました。)

2 日間で約 2,000 人の方にご来場いただき、25 の団体・サークルに駐車場や受付などをご協力して実施しました。文化祭を通して、文化の香り高い、豊かな地域づくりを推進することができました。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

(質疑等なし)

引き続き、畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井公民館から説明をお願いします。

畑沢公民館長 畑沢公民館です。畑沢公民館の文化祭は、当初、10 月26日から 27 日の開催予定でありましたが、12 月の14日と 15 日の土日に開催されました関係上、お手元の資料のほうには、まだ、掲載されてございませんが、作品展示中心の文化祭を開催いたしました。例年ですと地区社協との共催による「敬老のつどい」との同時開催ということで、芸能発表を「敬老のつどい」が開催されるお隣の畑沢中学校の体育館で実施しておりましたが、今年度は、双方、単独開催ということで、芸能発表については、公民館内での発表スペースの関係で、事前撮影をした映像を文化祭開催期間中、公民館内で常時、リピート上映するかたちでの発表といたしました。

飲食関係につきましては、障がい者支援といたしまして、「ふる里学舎」さんからパンを購入し、仕入れ値で販売するとともに、無料のコーヒーサービスをさせてもらいました。パンについては、1 日 150 個のパンが両日とも午前中で売り切れてしまう盛況ぶりでした。今年度、畑沢公民館は、昭和 59 年 4 月の開館以来、40 周年ということで、文化祭初日には、記念式典を開催し、地域に貢献された 4 名の方へ公民館長から感謝状を贈呈いたしました。青木委員長にもご来賓としてご臨席いただき、ありがとうございました。

地域の大きなイベントのひとつであります文化祭ですが、天候にも恵まれ、多くの高齢者・家族連れが会場に集い、賑わいを見せていましたが、文化祭テーマであります「みんなで育てよう地域の輪」を育む一助に貢献できたように思います。以上でございます。

岩根西公民館長 令和6年11月2・3日開催した、岩根西地区文化祭につきまして報告します。『地域の輪 未来へつなぐ 文化祭』をテーマに、地元区長をはじめ、地域諸団体・機関、公民館利用団体・サークルにより組織された実行委員会が主体的な運営にあたりました。

当初の開催日から1週間延期となったことで準備にも余裕ができ、2日間の地区文化祭を通じて、参加団体がそれぞれの日頃の活動の成果を発表することができました。

準備段階から文化祭当日まで地域住民のふれあいと交流の場となり、文化祭のテーマにある「地域の輪」の形成の一助となりました。特に模擬店の売り手として岩根西中学校の生徒が参加しましたが、地域の方との交流が図れて微笑ましい場面もありました。参加団体は20団体・個人と、コロナ前の水準には及びませんでしたが、入場者数は2日間で720人と例年並みの方が文化祭を楽しんでいただきました。

12月8日に開催した文化祭後の反省会では、展示部門のほか、芸能発表を復活できたことが参加者・観覧者ともに大変好評を博しましたし、継続してほしいとの声が多数上がっておりしました。

この公民館文化祭が希薄になりつつある地域住民の交流の一助となることを実感し、来年度以降も文化祭が活況をおびていくよう、例えばワークショップやフリーマーケットなど新たな試みにより文化祭を活発にしていきたいと考えています。

西清川公民館長 「第35回西清川地区文化祭」について、報告させていただきます。

「伝えていこう文化の祭り 深まるきずな地域の力」をテーマとして、10月26日(土)から27日(日)の2日間、西清川公民館を会場として実行委員会主催による地区文化祭を開催いたしました。昨年同様、サークルの作品展示・芸能発表・模擬店など58団体が参加、来場者のべ約2200人と充実した文化祭となったところです。

まず、「作品展示部門」では、陶芸、パソコン、書道、パステルアート、着物、クラフト小物、写真、彫刻などの作品展示に加え、陶芸・パステルアートの体験コーナーの設置や、西清小・祇園小の児童・三中の生徒に加え、地域の皆様からの公募による作品展示を、「芸能発表部門」では、民舞・舞踊、合唱(女性・混声)、新体操、フォークソング、器楽演奏、木更津第三中学校吹奏楽、詩吟など多岐にわたり発表され、大変盛り上がったところです。

続いて、「催物部門」では、公民館駐車場を会場として、西清川地区恒例行事となっている餅つきを2日間にわたり4俵(240kg)の餅つきの実演・販売に加え、「焼きそば・チョコバナナ・唐揚げ&ペト・豚汁・ちぢみ・綿菓子・ポップコーン・飲み物、パンの販売、陶芸作品の販売」を実施いたしましたところ、終了時間前に完売するなど大盛況でございました。

また、遊びの広場では「射的・ボーリング・輪投げ・けん玉」など、この他にも、日赤防災情報コーナー、まちづくり協議会から防災備品等の展示、地域啓発活動として「地域猫」のブースを設置いたしました。

このように、今回は、盛り沢山な内容となり、地域内はもとより、地域外からのお越しいただくなど、多くの皆様にご来場いただきたき、また、今年度は文化祭パンフレットに抽選券を付け、豪華賞品の当たる「ガラポン抽選会」を開催や、来場者アンケートの実施し、大変良かったとのことご意見をいただくなど、大変盛り上がった文化祭となったと感じております。

波岡公民館長 第32回波岡公民館地区文化祭を何とか終えることができた。「何とか」という言葉がまさにぴったり当てはまるような異例づくめの文化祭で、大変苦労した。まず、衆議院議員選挙の日程が急きょ文化祭と重なり、延期を余儀なくされたこと。日程の変更に伴い、出演交渉や依頼

に奔走したが、なかなか日程が合わず出演団体がいくつかキャンセルになったこと。調整後にもかかわらず直前のキャンセル。スケジュールに穴が開いてしまったので急きょ出演団体を募集するなどなかなか気の休まることのない準備期間となってしまった。また、初日の11月2日は、この季節としてはまれな大雨だったので、グラウンドの駐車場が大混乱したこと。そんな厳しい条件にもかかわらず、11月2日、3日の2日間にわたりたくさんの地域の方が足を運んでくれたことには本当に感謝である。

文化祭の参加団体、来場者数や開催内容は資料のとおりですが、今年、新たにとりいれたものとしては、公民館で活動しているボランティア団体さんのPRタイムを設けたこと。掲示物やチラシを配布して各団体工夫した発表になって好評だった。一日目の夜に「波人夜市」を同時に開催したこと。また、新たに餅つきを始めて、出来たてのお餅を販売できたこと。二日目の午前には、波岡小学校合唱部による発表。さらには、小学生を主体としたフラダンスの発表、午後には、子どもたちが参加できるようワークショップを取り入れた「館山ダルク・千葉ダルク」による「エイサー」の演舞などがある。参加した方からは、「館長さん、文化祭の「ダルク」良かったです。すごいい盛り上がり。ああいうグループを探してきてくれてありがとうございます。フィナーレが盛り上がりよかったです。もっといろんな人が見ればよかったのに。もったいなかった。」といった声が寄せられた。

文化祭後の反省会では、さまざまな要望が寄せられたが、一番の課題は雨天時の駐車場の問題だったと思う。グラウンドの水はけが悪かったために、翌日もぬかるみにはまる車があり、グラウンドの補修はその後一週間にわたって行われた。多くの方から、「お疲れ様。良かったよ。」という言葉をいただいた。気がかりなことは、確実に文化祭の芸能発表のサークルや団体が減少傾向にあることで、数年後には文化祭も別の形を考えていかなければ成立できなくなるのではと危惧している。

桜井公民館長 今年度の桜井地区文化祭は、「集まろう“桜井祭”へ」をテーマに、10月31日前夜祭ダンスパーティー、11月1日子どもの作品展示を経て、11月2日と3日の土日をメインで開催いたしました。

2日は悪天候の中、桜井町内会連合会を中心としたテントの立ち上げからはじまり、開祭式やオープニングセレモニーを急遽室内での開催に変更しながらも、模擬店、展示発表、小学生による呈茶会を予定通り開催しました。ただし子どもまつりは小学生が主催するゲームコーナーは3日へ順延となりました。パンフレットの配布数から1100名程の来場者を迎えることができました。

3日目は、天候にも恵まれ、芸能発表、模擬店、子どもまつり、展示発表会とすべての事業を運営することができました。天候もよかったことで、例年以上の来場者があったこと。展示、発表会のスタンプラリーと鑑賞券を集めて記念品と交換などの新たなチャレンジの効果により参加者からは、館内展示等も含め昨年度より人が多く来場してくれたとのご意見をいただきました。

また、3日目は市公連 A ブロックの青少年事業であるわくわく探検隊の子どもと桜井子ども

まつり実行委員会によるそれぞれのゲームコーナーも盛況で、来場者、文化祭実行委員からも子ども事業は素晴らしいとの評価をいただきました。

桜井地区文化祭の特徴としては、実行委員会参加から桜井町内会連合会が会場設営準備から模擬店支援と関わって頂いていることや、子ども達の活躍の場として子どもまつりの運営にあります。地域、利用者、異年齢で運営が行われていることが特徴です。しかしながら参加者の減少、それぞれ団体個人の意識変化など疑念を抱く方もあり、今後ともこのような体制で文化祭を継続運営できるようにしていくことが課題ともなっています。

最後に、桜井子どもまつり実行委員会は、今年度、日本製鉄のクローバー賞受賞となりましたので、ご報告させていただきます。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

秋元委員 各公民館から文化祭の報告をいただいたが、今年は選挙の関係で日程変更があったところもあり、色々な面で苦慮されたと思います。その中で、多少うまくいったところと問題点があるところなど色々ありましたが、その努力に敬意を表します。皆さんが一生懸命頑張ってくれることで、地域の人も「公民館が頑張ってるから頑張ろうじゃないか」ということでついてきてくれている状況がございます。私も八幡台で自治会の役員をやっているが、地域が頑張るためには公民館と繋がらなければいけないと思います。そういう意味では、館長、職員の皆さんは休日や人数が少ない中で頑張っていることはよく分かっています。

市議会では公民館を廃止することは決議されたそうです。はっきり言って公民館はなくなります。それに代わるものは何かというとはっきりしておりません。色々議会の話を聞くと市民部に移るそうです。公運審のようなものを作るかどうか一切決まっていない状況です。噂で、自治会やまちづくり協議会などが公運審のようなものを作ってほしいというような意見があることも聞いている。市としては団体等へ具体的に打診はしておらず、これからだということだ。残念ながら公民館では一生懸命頑張っているのに木更津市は全く計画性がなく、廃止して新たに作るけどそれを実際に動かすことは何も決まっていない状態で話を進めているのに非常に疑問が残る。少なくとも公運審ということで、公民館をいかに活性化するか、地域の代表として参加いただいているわけで、公民館がなくなった後、こういった会議をどのようにつなげていくかということを考えてほしい。議会の話では2年後に市民部へ移って動かすという話も聞いております。公運審の事務局として、長年公民館の運営に携わってきておりますので、少なくとも事務局の意見を上層部へしっかり伝えていきたいと思います。おかしければ、それを批判していただきたい。そのことでより良い方向

へ繋がるだろう。なあなあで進んでしまうと、今まで皆さんが努力して積み上げたものが全て水の泡になってしまいます可能性がある。そうなれば地域の活性力も低下するので、状況を理解したうえで今後進めていただきたいと思います。

鶴岡副委員長 畑沢公民館で地区社協の敬老会と文化祭を別にされた理由はあるのか。

畑沢公民館長 芸能発表できるサークルが年々減少している中で、詩吟、オカリナ、フラダンスのサークルなど手を挙げていただいたところはあったが、芸能発表の部門として敬老会の中で時間枠をカバーできるサークル数が見込めないのではないかということで、今年度は展示中心の内容での文化祭を開催することになりました。実行委員会の中では、発表を強く希望するサークルもあり、実演ではないが事前に撮影した動画を文化祭当日にリピート再生する形をとった。畑沢地区のサークル連絡協議会が今年度で解散することになり、総会の場で芸能発表は行いました。

青木委員長 他に質問がないようでしたら、次へ移ります。金田地域交流センターについて、事務局から説明をお願いします。

金田地域交流センター（事務局） 金田地区ではテーマに「伝えよう金田の魅力」を掲げ、選挙の関係で10月27日開催の予定を一日繰り上げて26日に開催しました。協力団体は、展示部門8団体、発表部門14団体、物販部門4団体、体験・コミュニティカフェ3団体、人数は全体で450名でした。来場者数は約800名でした。

来年度の課題としては、今回駐車場を金田東公園として利用し、そちらもちょうど埋まる形となった。今年は1日開催だったが文化祭の規模拡大のため2日間の開催を視野に入れる。午前と午後の来場者の差があったため、人数が集まる内容を午前午後で分散したい。参加団体の拡充および内容の変化をつけるため、イベントスペース2（駐車場側芝生エリア）を駐車場としてではなく、催し物場として使える形を考えたい。去年と比べて来場者数が少なくなってしまった。日程変更やその告知が足りていなかったと感じられたことなどがありました。予算等については資料のとおりです。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

鶴岡副委員長 昨年度、金田文化祭の報告の中で、地域の方々と連携がうまくいっていないとのことだったが、今年は大丈夫だったか。情報があれば教えてほしい。

事務局 センター長から直接話を伺っていないが、昨年度と比較して協力団体、サークル、人数は増加して、昨年度よりは状況改善しているという話は聞いています。

青木委員長 他にないようでしたら、文化祭視察研修の実施結果について事務局から説明をお願いします。

事務局 今回の視察は、10月26日(土)に実施いたしました。当初の予定で5館回る予定でしたが、選挙による文化祭延期の影響もあり、中央公民館、西清川公民館、岩根公民館の3館を午前中で回る行程になりました。参加者は14名。内訳は、公民館運営審議会委員7名、市関係者6名、教育委員1名です。概ね行程通りのスケジュールで回ることができました。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

(質疑等なし)

他に意見等がないようでしたら、議案第1号について、審議を終了させていただきます。

青木委員長 次に報告事項へ移ります。始めに「(1)各種選出委員からの経過報告について」です。

木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会については、私、青木からご報告いたします。

(説明内容) 10月29日に同施設概要の模型が提示されたが、1月20日に公園を含めた施設全体のより詳細な模型が提示される予定です。

青木委員長 続いて、「木更津市社会教育委員会」は、鶴岡副委員長よりお願いいたします。

鶴岡副委員長 本日10時から12時まで、金田きさテラスで会議がありました。吾妻公園文化芸術施設の関係で、基本設計の検討状況について説明があり、作成されたイメージ図など、資料やスライドを用いての説明でした。今回、金田きさテラスを会議会場とした理由として、新しい施設をイメージしやすい意図があったようで、施設見学をする時間もあった。質疑応答の時間では、私は公運審の代表として出席しているので、地区文化祭に参加された社会教育委員もいたことから、地域の方々、団体との連携の重要性について肌で感じていただけたと思いますけど、公民館は地域の核となる存在であることを伝えた。新しい施設は図書館も公民館もあり

素晴らしい施設だと思う。市の施設なので市民なら誰でも使えるものだと思うが、あくまで中央公民館は一中学区の地域住民が主に利用されている施設なので、貸館の役割だけではなく、地域の方、特に一中学区の住民が利用しやすいように、ソフト、ハード面ともに意識を持って事業を進めてほしいと要望しました。また、市の担当者が変わっても、その理念は継承されるように要望しました。現在活動中の中央公民館のサークルはほぼ移行できると説明があったが、青少年相談員、PTA、住民会議なども利用があるので、そちらの手当もしてほしいと伝えた。同席していた青少年相談員の佐久間委員からは、「地元の方は使えるのか」という質問があり、現在公民館を利用している団体からすると、新しい施設でも今までどおり利用できるかと心配している状況だと思うので、地域のため、地域と連携した施設づくりをお願いしたいと要望しました。

青木委員長 続いて、「木更津図書館協議会」ですが、小山委員より報告事項はない旨お話をいただいたおります。

青木委員長 以上、説明が終わりました。質疑、意見等のある方は挙手願います。

(質疑等なし)

青木委員長 それでは次に移ります。「公民館等の使用料改定について」、事務局から報告をお願いします。

事務局 前回の定例会で、使用料改定について説明しましたが、令和 6 年12月市議会定例会に条例改正(案)が上程され、議決されました。令和 7 年 4 月1日、4 月分申請受付分から改定後の料金が運用開始となります。各公民館の改定内容は資料のとおりです。

青木委員長 ただいまの報告に対して、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いいたします。

秋元委員 値上げの案を見るとおおよそ5割アップと読み取れるが、上げた根拠を明確にしていきたい。前回の会議でも話したが、物の値上げをする時は、計算の根拠など細かい資料が必要だと思う。生涯学習課からは明確な回答がなかった。光熱水費の高騰など理由はあると思うが、値上げの根拠

を示さないと、利用者は怒ると思います。使用料改定の説明は公民館が行うだろうが、大変なのは発案した部署ではなく、館長と職員だと思う。そのことは上層部が理解してほしいところだ。本来市長が説明すべきだと考えている。例えば、「経費はこれだけ上がった」、「これだけの赤字がでている」などの理由を明確に説明する必要があると思う。ごく当たり前の常識なので、市役所でも筋を通していただきたい。

事務局 公民館では、来年の1月以降に各館で利用者懇談会を開いて、利用者には丁寧な説明ができるよう準備を進めております。公民館に説明責任はあると認識はしているので、利用者が納得いただけるよう説明ができればと考えています。

平野委員 前回の公運審定例会で、公民館使用料の有料化については賛成、反対が半々、値上げについては大半賛成と報告があったと思う。実際、値上げの賛成、反対の確認を取った時は、それほど賛成の数が多くなかった印象だったが、この場で真意をお尋ねしたい。

青木委員長 前回定例会の使用料改定については、議案ではなく報告、説明事項であり、公運審の意見を求める場ではなかったと認識している。賛成、反対については、あくまで参考として、皆さんの意見を聞いたところです。

秋元委員 前回の話が報告事項であり、公運審の意見を求める場ではないということによいと思う。ただ、流れとしては、既に公運審会議録で値上げについて大半賛成と記載されており、内容の正確性については公運審としても責任が生じる。もし変えるなら会議録の修正、差し替えなどが必要だ。値上げについては、致し方ない考える方、賛成や反対の方、明確な根拠、説明がないと判断できない方など、色々な意見があり、公運審として意見をまとめられないであつたかと思う。私は前回の発言でも、「使用料の件については、この場で議論することでないが」と前置きさせていただいた。話が意見を求めるような方向に進んでしまったが、本来は公運審で議論すべきところではなく、できれば事務局が議論にならないように止めてほしかった。

加山委員 前回の会議で発言させていただいたが、審議会で意見が出た内容をしっかり議事録に落とし込ん

でほしいと要望した。それは以前の会議で私の発言が間違った形で記録されたことがあったためだ。議事録はどうなっていますか。

事務局 議事録の作成については、レコーダーで記録しており、その内容を元に作成しています。前回の議事録については木更津市ホームページに掲載済みでございます。

加山委員 前回の内容はこの場で答えられないということですね。

事務局 申し訳ございません。ただ、前回の加山委員のご発言の内容は、こちらでも記憶しております。議事録作成の際は留意させていただきます。

青木委員長 他に意見等がないようでしたら次に移ります。「公民館管理人について」、事務局から報告をお願いします。

事務局 現在、公民館5館(鎌足、清見台、東清、岩根西、波岡公民館)の公民館で管理人が配置されています。管理人に欠員が出た場合は公募して補充していたが、希望者がなくともあり、平成30年度以降は、管理業務の委託と機械警備へ移行する形をとっている。管理人には住み込みで公民館管理業務を行っていただいているが、建物の老朽化に伴い、管理人室の改修が必要であること、管理人が高齢になっていることもあるため、全ての管理人がいる館においても管理業務の委託と機械警備へ移行する予定です。時期については、引っ越し等の準備もあるため、令和8年3月を目途に切り替えを予定しております。管理人には、数年前から時期は未定だが、切り替えの予定があることは説明済みです。

青木委員長 ただいまの報告に対して、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いいたします。
(質疑等なし)

青木委員長 他にないようでしたら、次に移ります。「その他について」、事務局から報告をお願いします。

事務局 第59回君津地方社会教育推進大会(令和7年1月26日 日本製鉄株式会社で開催)について説明。

青木委員長 ただいまの報告に対して、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いいたします。

(質疑等なし)

青木委員長 それでは、先ほどの公民館の廃止の件について、公民館から説明をお願いします。

中央公民館長 5月の定例会の時に廣部教育長から、「より使いやすい施設になるよう公民館のコミュニティセンター化を推進する」旨説明させていただいた。令和6年7月に、市民部市民活動支援課にコミュニティセンター化を担当する職員が配置され、所管も市民活動支援課で行うよう準備を進めています。教育部も相談など関わっているところです。12月議会で、近藤議員、田中議員から「教育施設としての公民館は廃止になるのか」どうかの質問があり、教育委員会の組織ではなく市長部局の公の施設になるため、公民館としては廃止になると答弁しました。12月議会では、公民館の使用料改定は議決されましたが、公民館の廃止については、まだ議決されていません。

山口委員 それはいつ頃廃止になるのか。

中央公民館長 少なくとも令和7年4月から変わるようなことはありません。コミュニティセンター化後の公運審の取り扱いについてご心配いただく意見もありましたが、市でもどのような形にするか検討している最中で、お示しできる段階でご説明できればと考えています。

秋元委員 他の事例でもコミュニティセンター化や交流センター化の際に、公民館の機能を残すとはよく言われているが、実際は管理を業者へ委託することになり、業者の判断や考え方により大分差が出てくる。私も公務員だったが、物事を新しく変える際は、受け皿になるようなところにはあらかじめ打診や根回しをすることが一般的だ。今回、公民館が廃止されるにあたって、公運審には事前に打診などない状態で話が進んでしまっている。公民館を廃止の手続きをしてから、受け皿となる新しいコミュニティセンター等の制度を作る必要がある。少なくともこの公運審で出た意見等を、どこが受け止め、どこが吸い取ってくれるのか明らかにしてほしい。中央公民館から市民部に伝えることも

考えられるが、市民部の方に次回の公運審にご出席いただき、直接公運審でのやりとりを聞いていただくことで間違いなく内容が伝わると思う。そこでより良い方向に話が進むことが望ましい。

中央公民館長 次回の公運審定例会で市民部から説明のため出席する考えがあることは聞いています。

平野委員 議会の答弁で、市民部から、社会教育委員会や公運審など利用者の声は聞いたので内容は共有している。今後の予定で意見公募と説明会のみと発言されていた。話の内容に間違いはないか。

中央公民館長 平野委員の発言のとおり、議会の答弁がありました。

青木委員長 次回の公運審定例会には市民部の職員に是非ご出席いただくよう調整をお願いいたします。

平野委員 各公民館長の意見等は聞いていますか。あれば教えてほしい。

中央公民館長 市の職員の立場として、職務上、市の方針に原則従うことになるが、意見を求められれば利用者の側面として発言はすることになります。公民館の職員で、公民館の利便性を考える部会をつくっており、職員の意見集約も行っており、然るべき時に意見を伝えることができればと考えています。

山下委員 この公運審で議論した内容は、市政等に反映されているのか。公運審の委員の立ち位置がよく分からない。意見聴取など途中の段階が抜けていると思う。市がはっきりさせてほしい。議論するべきところは議論し、その内容が市政に反映されるかどうかはともかく、公運審として意見を挙げていくべきだと考えます。

青木委員長 市に対しては、公運審として答申という形で意見等を挙げておりますので、ご理解いただければと思います。

ほかに意見等がないようでしたら、これをもちまして、木更津市立公民館運営審議会 第3回定例会を終了いたします。慎重審議にご協力いただき、ありがとうございました。